



配慮を必要とする方に対しての理解と対応

～障害のある方等に対するサポートの視点と手法を身に付ける～

ねらい

周囲からのサポートを必要とされる方々の立場に立って支援する視点、基礎的な知識を獲得し、接し方のマナーや対応スキルを身に付けます。

特徴

要配慮者や要配慮者を支援する方からの講義や実際の接遇体験を通じて、コミュニケーションの取り方や支援の方法を習得することができ、研修後の実践力に直結します。

形式

本研修は下記の会場で、講師による講義や演習、要配慮者を支援する方からのお話や実習を中心に実施します。座席は教室型に配置します。

■日程

【1日間】

10月 6日（火）（予定）
※会場 「新潟ふれ愛プラザ」
（新潟市江南区亀田向陽1-9-1）

■予定人数

17名

■対象

障害者に対する接し方について基本的な知識・理解を学びたい方

■講師

新潟大学大学院医歯学総合研究科 教授 島田 久幸 氏 ほか
※講師は変更となる場合があります。

プログラム（予定）

9:00	12:00	13:00	17:00
はじめに 1. 接遇の基本 2. 障害者差別解消法を理解する 3. 配慮を必要とする方についての理解と支援方法		3. 配慮を必要とする方についての理解と支援方法 4. まとめ	

カリキュラム（予定）

時 間		内 容
1 日 目	9:00	<u>はじめに</u>
		<u>1. 接遇の基本</u>
		<u>2. 障害者差別解消法を理解する</u>
	12:00	<u>3. 配慮を必要とする方についての理解と支援方法</u> （1）肢体不自由者の理解と接遇 （2）視覚障害者の理解と接遇 （3）聴覚障害者の理解と接遇 （4）精神障害者の理解と接遇
	13:00	
	17:00	<u>4. まとめ</u>

※研修内容は現段階での予定であり、今後、変更となる場合があります。



【豆知識】 ヘルプマークとは？

ヘルプマークとは、義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、外見からは分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、作成されたマークです。

受講者の声（令和7年度）

- 障害がある方々や支援を行っている方から話を聞くことができ、とても良い機会だった。今後業務の中で、障がいがかかえている方と関わる際には、相手の話をよく聞き、相手を理解するようにしていきたい。
- 福祉分野以外の方も受けて損はない研修であると感じました。
- 車いすの使い方や手話等、この研修を受けていなければ知らずにいたことを学ぶことができた。